

子育て支援センターを利用した父親アンケート
実施期間平成22年6月1日～8月31日(回答数77人)

【回答者の属性】

年齢	人数
～20	0
21-25	2
26-30	13
31-35	28
36-40	20
41-45	6
46-50	4
51-55	1
56-	3

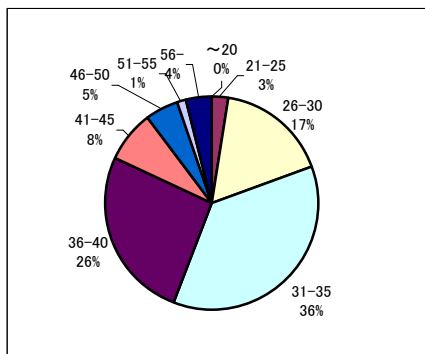


図1 年齢層

子どもの人数	人数
1人	34
2人	32
3人	11
4人	0
それ以上	0

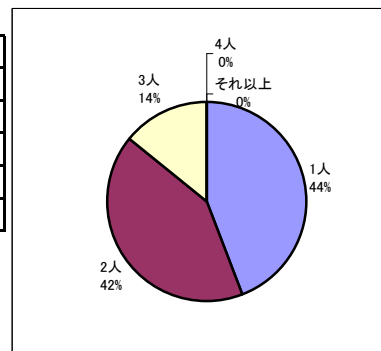


図2 子どもの人数

職業	人数
自営業	1
会社員(技術系)	39
会社員(事務系)	9
会社員(技術・事務系以外)	9
経営者・役員	0
公務員	15
その他	4

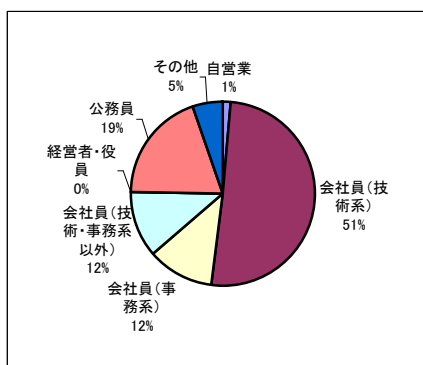


図3 職業

年齢	人数
0-2	50
3-5	28
6-8	15
9-11	7
12-14	2
15-17	0
18以上	1

※複数回答あり

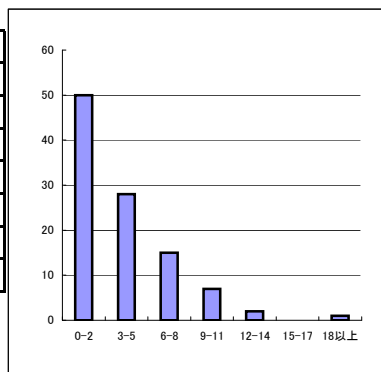


図4 子どもの年齢層

配偶者の仕事	人数
常勤(フルタイム)	16
パートタイム	12
専業主婦	40
フリー・在宅ワーク	3
産休・育休・休職中	9
配偶者はいない	0

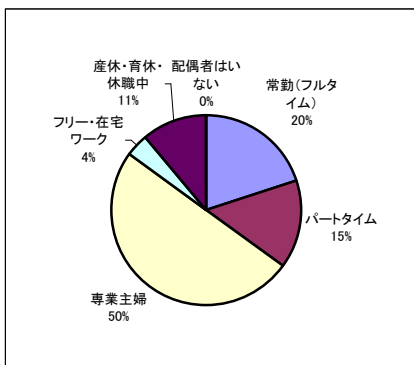


図5 配偶者の就業形態

回答者の年齢は30代前半の父親が多く、引き続き、30代後半、20代後半と続く。(図1)
 子どもの数は1人が最も多いが、2人と差はほとんどない。(図2)
 子どもの年齢は、0-2歳が最も多く、3-5歳が続く。乳幼児の父親が多いことがわかる。(図4)
 回答者の職業は、会社員(技術系)が最も多く、会社員が75%を超える。自営業は1%であった。(図3)
 配偶者の就業形態は、専業主婦が最も多く、ついで、フルタイム、パートタイムと続く。(図5)

子育て支援センターを利用した父親アンケート
実施期間平成22年6月1日～8月31日(回答数77人)

【父親の子育て事情】

勤務日に家を出る時間	人数
5時以前	3
5時台	4
6時台	18
7時台	40
8時台	9
9時台	1
その他	2

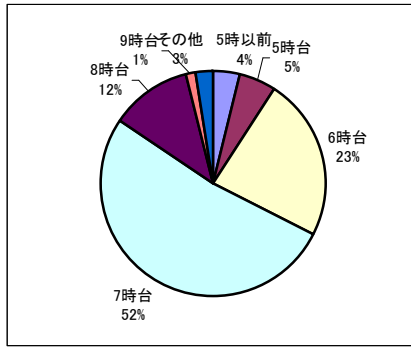


図6 勤務のある日に家を出る時間

勤務日の帰宅時間	人数
17時以前	5
18時台	16
19時台	17
20時台	19
21時台	9
22時台	8
23時台	3
その他	5

※複数回答あり

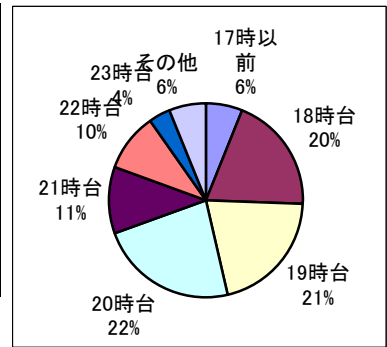


図7 勤務のある日の帰宅時間

子どもと過ごす時間(平日)		
	現実	理想
30分未満	18	1
30-1H	13	4
1-2H	25	23
2-4H	18	31
4-8H	2	10
8-12H	0	1
12H以上	0	1

子どもと過ごす時間(休日)		
	現実	理想
30分未満	0	0
30-1H	1	0
1-2H	2	1
2-4H	4	2
4-8H	26	21
8-12H	23	25
12H以上	18	24

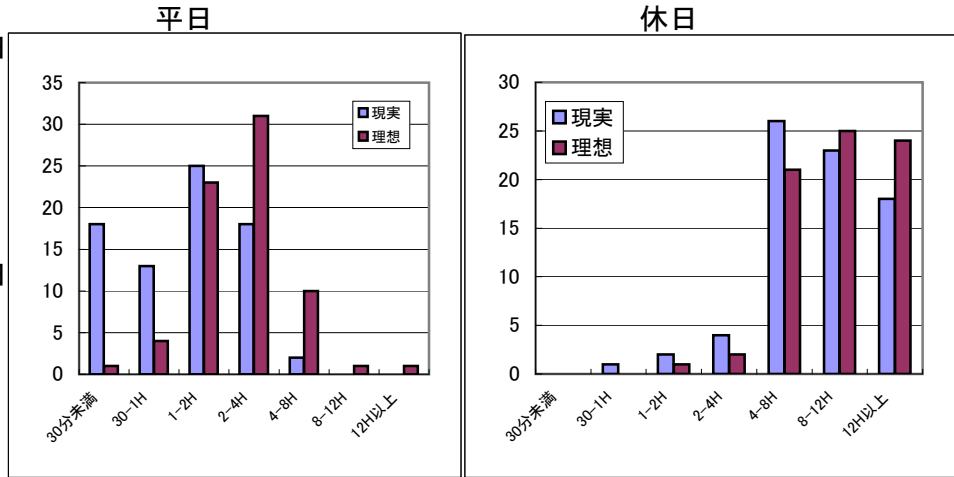


図8 子どもと過ごしている実際の時間と理想の時間

勤務のある日に、家を出る時刻は7時台が最も多い、。8時台、9時台と続く。(図6)
比較的、朝子どもと接する時間があるのではないかと予想できる。
帰宅時間は、20時台が最も多く、19時台と続く。18時台と比較的早い時間に帰宅できる人も20%あり、平日の夜も子どもと接する時間がある様子が伺える。一方、22時以降も14%ある。
実際に平日に子どもと過ごしているのは、1-2時間が最も多いが、理想は2-4時間過ごしたいと考えている。
休日は、4-8時間という回答が最も多かったが、理想では、8-12時間であり、理想と現実とは若干、乖離がある様子である。

子育てについての話し相手	人数
自分の親	16
配偶者の親	14
配偶者	53
自分の兄弟	5
会社の友人	16
地域の友人	6
公的施設のスタッフ	0
その他	1

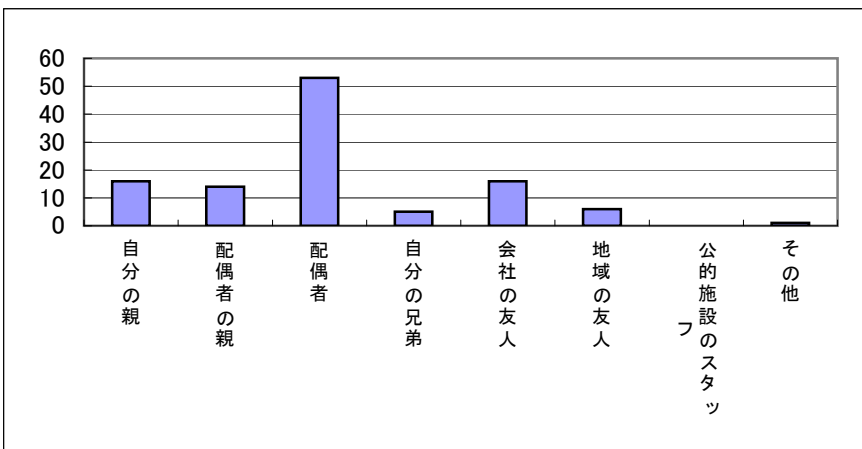


図9 子育てについての話し相手

子育て支援センターを利用した父親アンケート
実施期間平成22年6月1日～8月31日(回答数77人)

地域の仲間、友達	人数
いる	48
いない	18

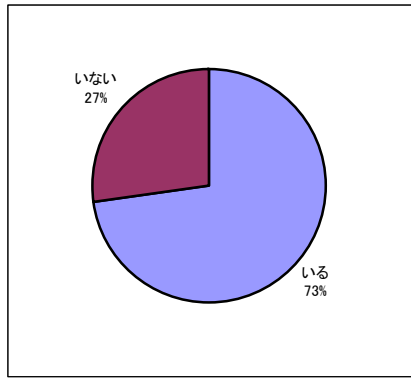


図10 地域の仲間・友だちの有無

いる人の友人数	人数
1-5人	25
6-10人	14
11人以上	9

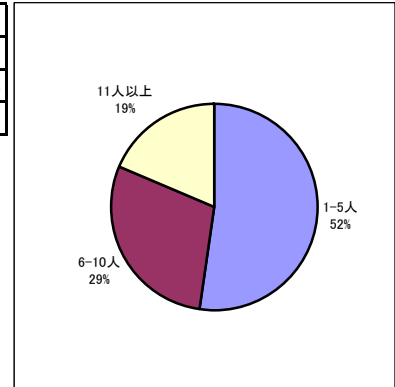


図11 地域の仲間友だちの人数

子育てについての話を誰とするかとの問いには、ほとんどが配偶者と回答している。次に多いのは会社の友人・自分の親が同数で続いた。配偶者を除けば、身近な地域にちょっとした相談相手などはあまりいない様子である。(図9)

地域の仲間や友だちについては、73%以上の人「いる」と回答している。(図10)

友だちの人数としては、1-5人の回答が多く、52%を占める。(図11)

【父親の地域活動への意識】

参加・来館のきっかけ	人数
友達に勧められて	4
配偶者に勧められて	47
児童館などで勧められて	6
広報きくがわを見て	3
チラシを見て	2
地域の人に勧められて	4
その他	1

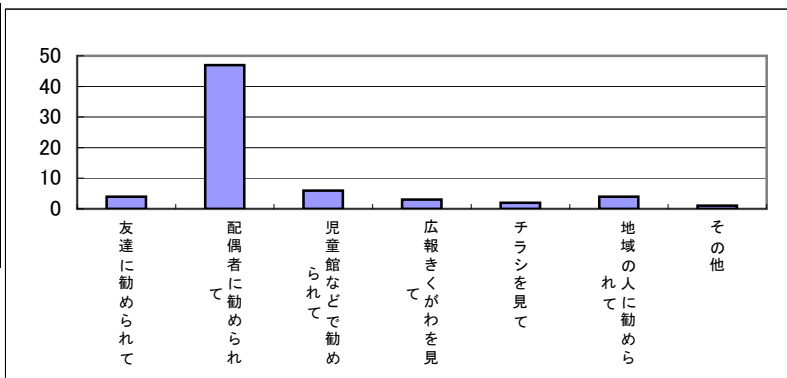


図12 参加のきっかけ

参加・来館の動機	人数
自分自身の楽しみ	6
子どもと一緒に過ごすため	45
自分の子どものため	27
地域の情報を得るため	1
子育ての情報を得るため	1
地域の子どものため	0
自分の仲間づくり	0
その他	3

※複数回答あり

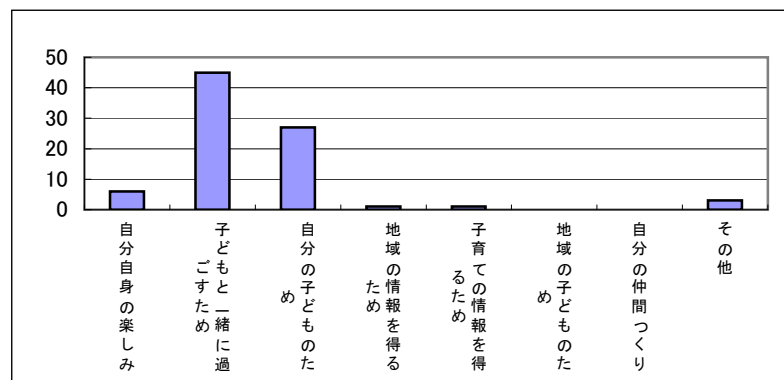


図13 参加の動機

父親の地域活動に参加したきっかけについては、「配偶者に勧められて」という回答が最も多く、続いて児童館などで勧められて、友達に勧められてとなっている。活動の告知を考えた場合、日頃支援センターなどに来ない人を募る必要があり、母親を媒体とすることが有効なことがわかる。(図12)

動機については、自分の子どもと一緒に過ごすため、自分の子どものためという回答が多い。(図13)

自分自身の楽しむため、という回答が少ない。父親自身が子どもと一緒に参加して楽しめるといった要因が今後の父親を集めるために重要であると考えられる。

子育て支援センターを利用した父親アンケート
実施期間平成22年6月1日～8月31日(回答数77人)

参加・体験してよかったこと	人数
子どもの遊び相手が増えた	14
自分の地域の友達が始めてできた	0
自分の友達が増えた	2
他の子どもや親子の様子が見れた	43
他の子どもと遊ぶことができた	7
子育てが楽しくなりそう	15
日常生活に良い影響がありそう	16
子どもと過ごす時間が増えそう	22
配偶者との関係が良くなる	8
地域の情報を得ることができた	4
家族ぐるみの交流をする機会が増えそう	6
特になし	1
その他	1

※複数回答あり

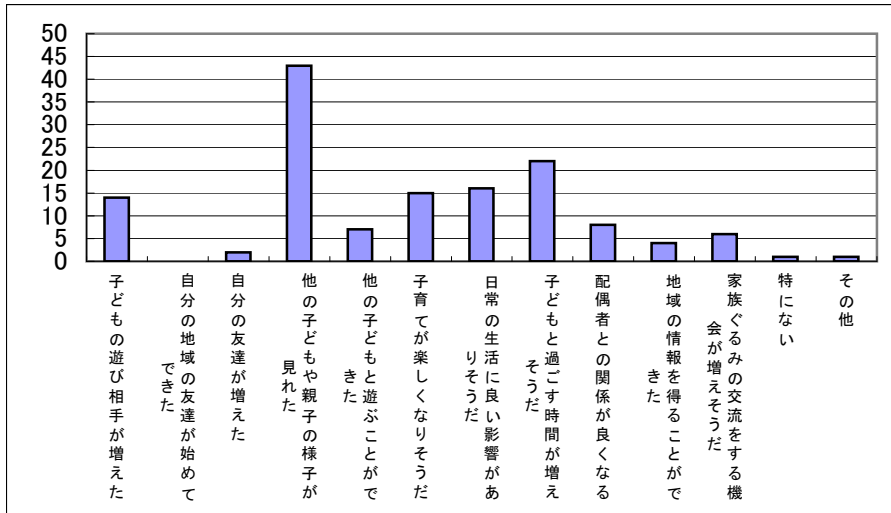


図14 参加してよかったと感じること

参加してよかったと感じることという問いには、「他の子どもや親子の様子を見ることができた」という回答が最も多く半数以上の方が答えている。(図14)

母親と異なり、父親と子どもが集団で集まる場所や機会が少ない現状を示しているものだと考えられる。他の親子を見て、自分の子育てや子どもとの接し方について、客観的に見る機会になっていると考えられる。次いで多いのは、「子どもと過ごす時間が増えそう」という項目である。

子育て支援センターの行事等を通じ、色々な子どもとの接し方知ることによって積極的に子どもとかわろうとするきっかけを得たことが伺える。

【児童館・子育て支援センターへの希望】

児童館・子育て支援センターへの希望	人数
父親が集まるきっかけ作り	11
場所の提供	30
遊びに関するノウハウの提供	17
地域の子育て情報の提供	18
他の活動の紹介	4
特になし	6
その他	2

※複数回答あり

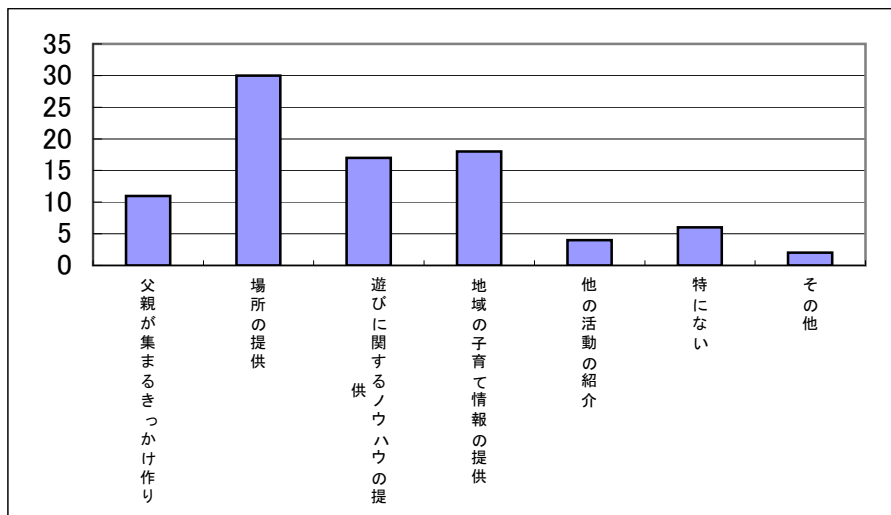


図15 児童館・子育て支援センターによる支援への希望

児童館・子育て支援センターの支援については、「場所の提供」が最も多い。これは母親と同様に活動の場所があることで、子どもと接しやすくなると考えられる。

次に多いのが、「地域の子育て情報の提供」、「遊びに関するノウハウの提供」という項目だった。

遊びに関するノウハウについては、児童館・子育て支援センターには十分蓄積があり、提供することは可能であるが、地域の社会資源との関係づくりについては、日頃から児童館・子育て支援センター活動の中で、意識していく必要があると考えられる。

〔今後参加してみたい、行事や企画(自由記述)〕

- ・ホテルを見たい
- ・子どもの英会話講習
- ・地域住民と子どもたちがコミュニケーションを取れる活動
- ・おもちゃ図書館
- ・夏祭りが楽しみ
- ・今のままでよい